



稲築東小学校だより

令和2年10月14日

校長 平田 賢一郎

学びの丘

「COVID-19」に対応した修学旅行

今年、新型コロナウイルス(COVID-19)対応のために、学校行事ができない状況が続いています。修学旅行も実施するのか、中止にするのかずいぶん迷いました。しかし、修学旅行は「一生に一度の楽しい思い出を作る場である」ことやここ数ヶ月の感染者発生状況、文部科学省の通知文、市教育委員会の後押しもあり、10月6(火)・7(水)日に例年通り長崎市・佐世保市方面に行ってきました。



【訪問先はどことも貸し切り状態】

特に、市の教育委員会からは、密にならないよう大型バスの借り上げを補助して頂いたり、宿泊所で子どもが熱発した時の保険代の補助等をして頂いたりし、とても感謝しています。



「バスの中で」「見学施設の中で」「宿泊施設の中で」密にならない方法旅行社や訪問先との入念な打ち合わせを行い実施しました。



【2席を1人で】



【部屋は2人から3人部屋】



【一人ひとりラップかけ】

<子どもの一口感想>

○コロナの中、修学旅行に行けたのがとてもすごくうれしかったです。6年

生の思い出にもなったし、とても良かったです。
○ホテルの方々やご飯を作ってくれた方々に感謝したいです。もし、行けなかったら、6年の思い出がなかったと思います。

「あいさつ」ができる児童を育てたい

「先生方も子どもたちもよく挨拶をしてくれますね。とてもいい気持ちになります。」

この言葉は、たまたま来校されたお客さんからいただいたお褒めの言葉です。その時は非常に誇らしく、嬉しく思いましたが、よく児童を観察していると様々な様子が見られます。



「立ち止まって手を前で合わせて丁寧に挨拶する児童」
「相手の名前を呼び自分から元気のよい挨拶をする児童」 【立派なあいさつ】
「顔を見て挨拶する児童」「こちらが挨拶をすれば、返す児童」等です。

さて、今年もあいさつ運動が始まりました。今年1週間ではなく、習慣化を目指すために半年間を通して運動を進めていきます。生活委員会のメンバーが下記のように全校に呼びかけをしています。

生活委員会からのお知らせです。全校のみなさん、こんにちは。
みなさんは、自分から進んで気持ちの良いあいさつをすることができますか。今年、コロナウイルスのえいきょうで全校であいさつ運動の取り組みをすることはできませんが、明るく、笑顔のあふれる稲築東小学校になるように、みんなで元気なあいさつをしていきましょう。

すでに、成果が表れています。

あいさつは ころの リボン

あいさつは すてきな リボン。
あなたと まわりの 人の ころを むすんで くれる。

これは、昔道徳の副読本だった「心のノート」(小学校低学年用)に載っていた詩です。挨拶の価値を見事に言い当てた詩だと思います。挨拶は人と人が心を通わし、よい人間関係を築く重要な役割を果たす行為です。挨拶がまわりの人との心を結んでくれる大事なものだということを理解し、挨拶を交わす心地よさを感じ取り、「習慣」になるまで高まってくれればと思います。

ご家庭でも、「おはようございます。」「行ってきます。」「いただきます。」等挨拶がきちんとできるようご指導をお願いします。

